

日頃、町行政につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、男女共同参画社会の実現に向けて、国・県はもとより、本町においても、平成18年度に「聖籠町男女共同参画計画」を策定し、その後、平成29年度には～『人と人・男性と女性』が支えあうまち～を基本理念とする第3次計画を策定し、各種施策を推進しているところです。

町では、これらの施策に基づく取組みにより、男女共同参画の理念に関し、町民の皆様にとどのように理解されているか、あるいはどのように意識が変化しているかを把握し、今後の計画推進の参考とするため、男女共同参画に関する意識調査を実施することとしました。

この調査は、住民基本台帳から18歳以上の町民の方を年代層ごとに無作為に抽出させていただき500人の方をお願いするものであります。

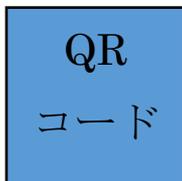
なお、この調査は、無記名により統計的に処理するもので、回答いただいた方の個人情報漏れることやご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

<<ご回答にあたってお読みください>>

1. このアンケートは 令和3年〇月1日現在で、町内在住で18歳以上の方のうち、無作為に抽出した500人の方を対象に送付させていただいています。
2. 調査票の記入は、調査対象者であるご本人の意見として記入して下さい。
3. ご回答いただいた内容は決して他の目的に利用することはありません。
4. アンケート結果の公表に際してはご回答の内容は統計的に処理されます。このアンケート及び返信用封筒には、お名前を記入いただく必要はありません。
5. 回答方法は、あてはまる番号（1、2、・・・）を○で囲んでいただく形式です。一部（ ）内に具体的にご記入いただく設問もあります。
6. ご記入が終わりましたら、同封した返信用封筒（切手不要）にて返送ください。
7. QRコードからインターネットでも回答いただけますのでご活用ください。

回答は〇月〇〇日(〇)までに同封の返信用封筒で返送またはQRコードからインターネット回答をお願いします。



【この調査に関するお問合せ】

聖籠町役場総務課 総務管理係 担当：相馬・大沼
電話 0254-27-2111（内線 225、224）

問1 あなた（回答者）の性自認（性別）をお答えください。

（○を一つ付けてください）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問2 あなたの年代をお答えください。（○を一つ付けてください）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | |

問3 あなたの婚姻状況をお答えください。（○を一つ付けてください）

- | | | | |
|------|-----------------|------|------|
| 1 未婚 | 2 結婚している（事実婚含む） | 3 離婚 | 4 死別 |
|------|-----------------|------|------|

問4 お住まいの地区は次の学区のうちどれですか。（○を一つ付けてください）

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 蓮野学区 | 2 山倉学区 | 3 亀代学区 | 4 わからない |
|--------|--------|--------|---------|

問5 あなたの職業等をお答えください。（○を一つ付けてください）

- | | | |
|--------|-------------|-------------|
| 1 農林漁業 | 2 会社員 | 3 公務員・団体職員 |
| 4 自営業 | 5 パート・アルバイト | 6 専業主婦・専業主夫 |
| 7 学生 | 8 無職 | 9 その他 |

問6 あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

（○を一つ付けてください）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 7 聖籠町で男女共同参画計画が実施されていたことを知っていますか。

(○を一つ付けてください)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

<問 7 で 1 を回答した方だけ>

問 7-1 “知っている”と答えた方はどこで知りましたか。

(自由記述)

--

<問 7 で 2 を回答した方だけ>

問 7-2 “知らない”と答えた方は、どのような方法で知らせて欲しいですか。

(自由記述)

--

問 8 性のあり方は、出生時に決められた男女の性別よりさらに多様で複雑であることを知っていますか。(○を一つ付けてください)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 9 あなたの地域の自治会、PTA、子どもの行事などの地域活動の場において、次の中から当てはまると思うものを一つ選んでください。(○を一つ付けてください)

- | |
|------------------------|
| 1 男性の方が非常に優遇されている |
| 2 男性の方がどちらかといえば優遇されている |
| 3 平等 |
| 4 女性の方がどちらかといえば優遇されている |
| 5 女性の方が非常に優遇されている |
| 6 わからない |

問 10 聖籠町において、女性は男性よりも地位が低い、または立場が弱いと思いますか。（○を一つ付けてください）

1 思う 2 思わない 3 わからない

問 11 生活をする上で、貧困などの様々な困難に直面していますか。（○を一つ付けてください）

1 している 2 していない

問 12 配偶者や恋人から身体的、または精神的な攻撃を受けたことがありますか。（○を一つ付けてください）

1 ある 2 ない

問 13 配偶者や恋人から暴力を受けた場合、相談のための窓口があることを知っていますか。（○を一つ付けてください）

1 知っている 2 知らない

問 14 女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思いますか。（○を一つ付けてください）

1 思う 2 思わない 3 わからない

問 15 あなたは、「男（夫）は仕事、女（妻）は家庭」という考え方について、賛成ですか、反対ですか。（○を一つ付けてください）

1 賛成	→ 問〇〇-1 を回答してください
2 どちらかといえば賛成	
3 どちらかといえば反対	→ 問〇〇-2 を回答してください
4 反対	
5 わからない	→ 問〇〇を回答してください

<問 15 で 1、2 を回答した方だけ>

問 15-1 その理由について、あてはまる番号を次の中からお選びください。
(○は 2 つまで付けてください)

1 男性は仕事、女性は家事・育児・介護にむいているから
2 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児・介護は女性の責任だから
3 女性が外に出ると、家事・育児・介護にさしつかえるから
4 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5 家庭で子どものころからそうした教育がされているから
6 女性が外に働きに出るのは男性と比べると不利だから
7 その他 ()

<問 15 で 3、4 を回答した方だけ>

問 15-2 その理由について、あてはまる番号を次の中からお選びください。
(○は 2 つまで付けてください)

1 男女ともに仕事を持つ方がよいから（生きがいや経済的な面で）
2 家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから
3 仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから
4 男(夫)が仕事だけしている、女(妻)が家庭だけにいると家族の視野が狭くなるから
5 夫婦ともに、働いて能力を発揮した方が、社会にとって良いと思うから。
6 誰もが、家庭と仕事とを両立できるような働き方ができる社会の実現を目指すべきだから
7 その他 ()

問 16 男性が育児、炊事などの家事の役割を主体的に行うことに抵抗感がありますか。(○を一つ付けてください)

1 ある 2 ない 3 わからない

問 17 あなたは、自身が自認している性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できていますか。(○を一つ付けてください)

1 できている 2 できていない 3 わからない

問 18 あなたは、自身の性のあり方(性別等に関連する生き方)にとらわれることなく、その個性と能力をより一層発揮できるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

(3つまでに○を付けてください)

- 1 男性や女性といった性別に基づくさまざまな固定的な社会通念、偏見、しきたりなどを改めること
- 2 女性が経済力をつけること
- 3 家事・育児に、パートナー双方が積極的に関わること
- 4 学校で性別に基づく固定的な社会通念、偏見、しきたりなどの是非について教育をすすめること
- 5 家庭での性別に基づく固定的な社会通念、偏見、しきたりなどの是非について教育を進めること
- 6 学校及び家庭で性的マイノリティに対する理解を進めるような教育を進めること
- 7 役場や企業などで重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用すること
- 8 仕事と生活との調和がとれるように、長時間労働などの働き方が改善されること
- 9 その他 ()

問 19 聖籠町は、自身の性のあり方(性別等に関連する生き方)にとらわれることなく、個人がその個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に力を入れていると思いますか。(○を一つ付けてください)

1 思う 2 思わない 3 わからない

